

# 平成 24 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	020100	TEL	2998-9046		
事業コード	平和推進事業		企画総務課					
020110			グループ	基地対策室				
開始年度		昭和	60	年度	→	終了年度	平成	年度

②事 業 の 概 要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針					
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	章	コミュニティ	節	国際社会	基本方針
事業開始の背景	昭和59年、広島市から当市に原爆の熱線を浴びた広島市旧庁舎の敷石が寄贈されたことを契機に、当事業を開始した。その後、平成2年に所沢市平和都市宣言が制定され、当事業の拡充を図ることとした。					

③事 業 の 内 容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)			
	戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを観念的にではなく、より具体的に市民一人ひとりに理解してもらう。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位
	全市民		平成 22 年度	341,750 人
		平成 23 年度	342,750 人	
事業の具体的な内容及び実施方法				
①広島平和記念式典への参加:一般公募した市民(中学生から大学生まで)とともに、8月6日に広島市で行われる原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加し、原爆犠牲者を追悼するとともに平和の尊さを知ってもらう。 ②平和祈念資料展の開催:市役所市民ホール及び各地区の公民館にて被爆資料や原爆の写真パネル等を展示する。 ③語り部派遣事業(平和講演会)の開催:市内小・中学校及び公民館等において被爆等体験者による講話会を実施する。 ④「平和推進事業のまとめ」の発行及び配布				

④経 費	《会計種別》	一般会計	平成 22 年度 (千円)	平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	
	当初予算		434	432	429	
	決 算 (見込み含む)		425	432		
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	( 人 )	( 人 )	( 人 )	
	正規職員人件費		0.25 人	2,315	0.30 人	2,757
	事業費合計		2,740	3,189		
財源内訳	一般財源		2,740	3,189	429	
	国・県支出金					
	その他( )					

⑤実 績 ・ 成 果	項目名	計算方法	単位	H 22	H 23	H24見込み	将来目標	
	活動実績	平和祈念資料展の開催	平和祈念資料展の入場者数	人	3,500	3,500	4,000	5,000
		平和を語る会の開催	平和を語る会の参加者数	人	1,369	1,212	1,300	1,500
	成果指標	市の平和推進事業にご理解いただいた人数	上記の事業に参加して、「意義がある」と回答した人の割合	目標値	100	100	100	100
				実績	97	97	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」の拡大を図る	
				達成率	97	97	<input type="checkbox"/> 「実績」の縮小を図る	
昨年度中に改善した点								
講師に高橋玄洋氏を迎え、平和講演会を開催した。入場者数は350人であった。								

⑥評 価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方今 向後 性の	事業の活動(回数、範囲など)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持
				事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他( )
				次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 現状維持
	評価理由と今後の方向性(課題と対応)				
当市は、平和都市宣言をしており、恒久的な平和を訴え続け、次代を担う小中学生等の若年層を中心に、あらゆる世代の市民に戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを理解してもらうため当事業を引き続き実施していく必要がある。また、原爆死没者慰霊式・平和祈念式への参加応募が増加していることから、今後は参加者の人数を増やしていくことも検討し、さらなる平和の啓発に努めていきたい。					
事務改善ミーティングで示された意見とその対応					
評価日	H24.6.1	評価者職氏名	基地対策室長 渋谷 俊男		

⑦環 境 影 響	原因活動( 平和の啓発 )	原因活動( 事務作業時にパソコンを使用 )	規制を受ける 主な環境法令 等の名称
	<input type="checkbox"/> 国際性を育む環境づくりの推進	天然資源(森林・化石燃料)の減少	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 有害な環境影響(重大なものには○)	廃棄物の排出	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 有害な環境影響(重大なものには○)	公害(大気汚染・騒音等)の発生	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>	有害な影響を 与える緊急事 態の内容
	その他( )	<input type="checkbox"/>	